

IBM ^ xSeries 250 サンプル構成

2 CPU + RAID + タワー 構成例

番号	品名	数量	備考
8665-6AJ	xSeries 250システム装置 P III Xeon 700MHz 512MBメモリ (標準装備) P III Xeon 700MHz/1MBプロセッサ・アップグレード II (10K233相当) ServeRAID-4H (19K056相当) 36.4GB Ultra160 SCSI HDD x 3 (37L720相当) 250W ホットスワップ・リダundant電源機構 x 2 (33L376相当)	1	8U
33L3113	128MB 100MHz SDRAM ECC RD MM メモリー	4	合計 1GB
06P5755	36.4GB ホットスワップ・スリム・ハードディスク (10,000rpm)	2	RAID用
06P3601	10/100 Ethernet サーバー・アダプター	2	リダundant構成
00N8016	100/200GB LTO テープ機構	1	
33L3760	250W ホットスワップ・リダundant電源機構	2	4リダundant電源
32L9519	SmartUPS 1400 ^{1 2}	1	

4 CPU + RAID + EXP 300 構成例

番号	品名	数量	備考
8665-8AJ	xSeries 250システム装置 P III Xeon 900MHz 512MBメモリ (標準装備) P III Xeon 900MHz/2MBプロセッサ・アップグレード II (19K463相当) ServeRAID-4H (19K056相当) 36.4GB Ultra160 SCSI HDD x 3 (37L720相当) 250W ホットスワップ・リダundant電源機構 x 2 (33L376相当)	1	8U
19K4635	Pentium III Xeon 900MHz/2MBプロセッサ・アップグレード II (4way)	2	合計 4 CPU
33L3113	128MB 100MHz SDRAM ECC RD MM メモリー	4	合計 4GB
33L3115	256MB 100MHz SDRAM ECC RD MM メモリー	4	
33L3117	512MB 100MHz SDRAM ECC RD MM メモリー	4	
06P5755	36.4GB ホットスワップ・スリム・ハードディスク (10,000rpm)	7	RAID用
37L7086	xSeries Ultra160 SCSI リピーター・カード	1	2つのバックプレーンを 1チャンネルで使用可能
00N8016	100/200GB LTO テープ機構	1	
06P3601	10/100 Ethernet サーバー・アダプター	2	リダundant構成
33L3760	250W ホットスワップ・リダundant電源機構	2	4リダundant電源
ストレージ			
35311RU	EXP300ストレージ拡張装置 (ホットスワップ対応)	1	2m Ultra2ケーブル付 3U
06P5755	36.4GB ホットスワップ・スリム・ハードディスク (10,000rpm)	14	
ラック			
9306420	NeBAY42 SR (1型 42U)	1	
94G6667	4.3m 電源コード A14	1	
28L4707	キーボード・トレイ (ケーブル付き)	1	3U
94G6670	ブラック・パネル・キット	2	
9511AG4	T540 1型 TFT液晶カラー・モニター (黒)	1	37L6888に設置
37L6888	フラットパネル・モニター・ラックマウント・キット II	1	キーボード・トレイに設置
28L3652	スペース・セーバー・キーボード II (黒)	1	キーボード・トレイに設置
28L3677	BM スリーク・マウス (黒)	1	キーボード・トレイに設置
32L9525	SmartUPS 3000 RM 3U Black ^{1 2}	1	3U
各OS対応UPS電源管理ソフトウェア³			
32L9321	PowerChute Plus for Windows NT/2000 (AP9009J)		
32L9248	PowerChute Plus for Novell (AP9003J)		
37L8445	PowerChute Plus for Unix (AP9004J)		

1 アプリケーションおよびオペレーティングシステムを正常に終了させるために必要な時間はお客様それぞれのシステムにより異なります。当サンプル構成は、原則として10分以上の停止時間を確保できることを前提としてUPS機種を選択しています。

2 自動シャットダウンのソフトウェア製品 (PowerChute Plus) を導入しますと、一定時間停電が経過すると入手を介することなくシステムを自動シャットダウンすることができます。

3 PowerChute Plus for Linux に関しては、APC社Webサイトよりダウンロードしてください。サーバーとUPSを接続する際に使用するケーブルにつきましては、Interface Kit C (PowerChute Plus-2000/Linux) (32L9530) が必要になります。